

登録10年の取り組み報告⑧

綾の照葉樹林プロジェクト



綾プロのシカ柵ネット張り作業

「5者による珍しい取り組み

「綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト／通称綾プロ）」は、ユネスコエコパーク登録につながる大きな流れをつくったとされています。2005年にスタートし、今年で16年目を迎える取り組みです。

綾プロは、九州森林管理局、宮崎県、綾町、（公財）日本自然保護協会（一社）てるはの森の会の5者協定により進められているもので、官民一体となって行う森づくり・地域づくりは全国的にも珍しい取り組みなのです。

「緑の回廊」を目指して

具体的には、綾北川・綾南川流域に残された国内最大級の原生的な照葉樹林を厳正に保護するとともに、これらの間に点在する二次林や人工林を照葉樹林に復元し、照葉樹林帯としての「緑の回廊」をつくることを目指しています。これにより、日本文化や日本人の精神構造の基層を形成し、か

つ学術的にも世界的にも貴重な森林生態系である照葉樹林を、よりよい森林にして後世に継承するとともに、地球温暖化防止にも寄与することになります。

綾プロでは、2011年に国際照葉樹林サミットを開催。照葉樹林にかかわる国や地域の人々を集め、基調講演や分科会、現地見学会を行いました。町外からも多くの参加があり、ユネスコエコパーク登録につながる社会的気運が高まりました。2012年には綾プロエリアがユネスコエコパークの核心地域・緩衝地域として登録されたのです。

「新たな復元方法の検討も

登録以降も、5者は定期的に協議や調



綾プロエリア



査を行っています。これまでに綾プロ10周年記念フォーラムの開催や、照葉樹林復元ボランティア作業の実施、自然散策道路の整備など活動は多岐にわたっています。

近年は、シカの食害の影響により復元がうまく進まない現状が明らかになってきており、新たな復元方法の検討やボランティアによるシカ柵ネット張り作業の実施など、状況に合わせた取り組みを進めています。森の復元には長い時間がかかるため、官・学・民一体となって取り組まなければ「緑の回廊」が実現できません。今後も皆さんのご協力をお願いします。

綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター
 ☎77-3482 URL <https://ayabrcenter.jp> ※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館
 感染症の影響による休館等の情報はホームページで随時更新します

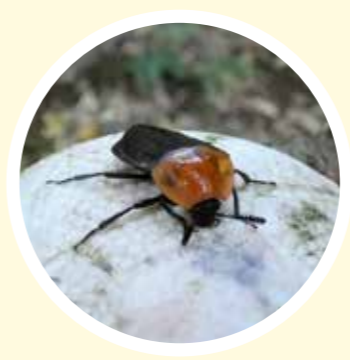
column

ベッコウヒラタシデムシ

名前のとおり、胸がきれいなベッコウ色をした平べったいシデムシの仲間です。

シデムシは漢字で「死出虫」と書き、動物の死体やフンをエサとしている自然界の掃除屋として知られています。そうした食性から汚いイメージを持たれがちですが、親子どものためにエサを与えてるといふ、ほかの昆虫が行わない面白い習性を持っています。

また、種類によって暮らす環境が異なるため、自然環境の豊かさの指標としても注目されています。ちよつとクサすごい自然界の優秀な掃除屋さんを、嫌わないうあたたく見守ってください。



ムラの肖像

1960年代に竹野地区の田んぼで撮影された1枚。

刈り取った稲を円すい状に積み上げた「稲こづみ」が写っています。かつては、穂が付いたままの稲を積み上げて必要に応じて足踏み脱穀機などで脱穀したり、脱穀が済んだわらを積み上げて冬の間少しづつ牛に食べさせたり、畑の敷きわらにしたり、わらじや縄を編んだりしていたといえます。

「稲こづみ」は南九州での一般的な呼び方で、稲積（にお）などという地方もあるそうです。現在ではなかなか見ることのできない貴重な農村風景です。



※令和2年から町内の小規模集落で行っている「綾の肖像プロジェクト」で集めた写真の中から紹介します